

「命の道」 伊豆縦貫自動車道だより

教育関係の意見交換会を開催しました

これまで開催してきた地区説明会で、文教地区を通過することに伴う様々な影響について心配する声が多数寄せられたため、今回、国・県・市の道路計画担当者と教育・保育の関係者、PTAが一堂に会した意見交換会を開催しました。

そこでの主な意見をご紹介します。

Q いまのルートが選ばれた理由は？

↳ 国土交通省が、検討委員会や住民アンケート等を踏まえ、整備効果やコスト、移転家屋などを総合的に検討した結果、現在のAルートが最適となりました。

Q 自然に恵まれた稲生沢地区の景観が大きく変わってしまうのが残念。伊豆縦貫道の必要性は理解できるが、子どもたちの教育環境への影響が大きい。4千人を超える署名のことをよく考えてこの地区を迂回してほしい。

↳ 総合的な検討をしたルートであり、ルートそのものを変えることは非常に難しいが、文教地区を通過することでいろいろな問題があると認識しているため、今回だけでなく、今後もさらに話し合いを行い、皆さんの意見を聞いて、計画に反映していきます。



Q 工事中は、通学路に工事車両が多くなり心配。また完成後の通学路の安全対策はどう考えているのか？

↳ 工事については、通学時の安全対策はもちろん、授業や学校行事に迷惑をかけないように十分配慮します。また、周辺道路の安全対策は、今後、当地域のまちづくりの課題として、安全安心の通学路づくりを目指して、改善策を検討していきます。(都市計画マスタープラン)



安全な通学
について

Q 工事中の騒音、完成後の通過交通による騒音はどの程度なのか。また、その対策はどのようなものか？

↳ 騒音の予測値は資料のとおり。基準値を超えるところは防音壁の設置等を検討します。



騒音
について



防災
について



Q 騒音の予測値が、現況値とあまり変わらないのはなぜ？

↳ 縦貫道により発生する騒音が、周辺環境の現状の騒音と比べて小さいため、合成された予測値は現況値とあまり変わらない大きさとなっています。

Q 下田高校が伊豆地域の防災集積拠点に位置づけられているのに、そこにつながる道路が一本だけでは弱くないか？

↳ 下田市の防災上の問題として、防災部局と検討するとともに、まちづくり全体の問題として、都市計画マスタープランでも検討していきます。

Q 津波の際、縦貫道の上に逃げられるよう、階段をつけるなど構造上の工夫をしてもらいたい。

↳ 東日本大震災でも高速道路の高架橋に避難して、多くの方が助かりました。この地域も南海トラフ地震が予想されているので、縦貫道にもそうした工夫を考えていきます。

○資料のご案内

伊豆縦貫道の関連資料はいつでもご覧いただけるよう、市ホームページに資料を掲載しています。また、ご要望があれば、地区への回覧もいたします。お気軽にご連絡ください。

○市役所からのお願い

下田市では、皆様のご不安・ご心配に向き合い、これからも話し合いを続けてまいります。皆さんの声をお寄せください

